

# ★JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業★

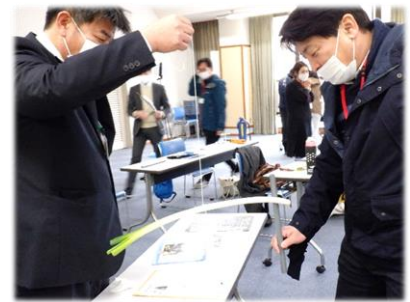
## ★活動レポート②★

山口県教育庁  
社会教育・文化財課  
2021年1月20日

### ☆大人も「静電気であそぼう！」☆

12月19日に山口市のパルトピアやまぐちを会場に、「第2回大人版宇宙の教室」が開催されました。講師には、「子ども・宇宙・未来の会（通称：KU-MA）」の会長である並木 道義氏を迎え、前回と同様に神奈川県と山口県とをリモートでつないだ研修会となりました。

今回の研修では、まず「静電気であそぼう」ということで、帯電させた塩ビパイプでキュウリやゴボウなどの野菜を触れることなく動かしたり、スズランテープを細く裂いて「電気クラゲ」を空中に浮かべたりと、大人たちも知的好奇心が刺激される内容でした。参加者からは、「子どもでも分かりやすく静電気について学ぶことができる」や「静電気は、冬場バチバチして厄介なもの・・・と嫌っていたが、車工場の塗装技術として役立っていることを知れて良かった」などの意見が聞けました。



### ☆宇宙教育のインフットからアウトフットへ！☆

午後からは、これまで参加者が体験を通して学んできたことを基に、「宇宙教育の企画・立案」に挑戦しました。子どもたちへの指導については、経験の差がありながら、お互いの知恵を出し合いながら5つのグループから企画がプレゼンされました。「自分たちが立案したものを、ぜひ実践してみたい」と意識が高まった参加者もあり、自分たちと同じように宇宙や科学に対する面白さを伝えたいと感じていました。

<企画・立案された内容>

- 大気圧実験を通して、空気の大切さを知ろう！
- 入浴剤を使って「バブ・ロケット」を飛ばそう！
- ブーメランや「電気クラゲ」を作って、身近な科学について知ろう！
- 電波の力を使って、ブラックホールを見てみよう！
- 宇宙でも野菜が育てられる「水耕栽培」について知ろう！



### ☆今年度の「大人版宇宙の教室」を終えて☆

コロナウイルスの蔓延が心配される中、第2回目も例年を上回る19名の参加がありました。今回は科学実験だけでなく、参加者の方には宇宙教育の実践者になっていただくために「宇宙教育を企画・立案する演習」を取り入れました。日頃はそのような機会が少ない参加者も多く、最初は戸惑いも見られたが、徐々にお互いの知識や意見が組み合わせあっていき、どのグループも企画書を完成させることができました。アンケートの中に、「宇宙教育を主催したい・スタッフとして関わりたい」という人数が増えてきたことから、参加者の意欲が高まっていったのが感じられました。

今年度の研修を通じて、昨年度以上に「今後も宇宙教育に関わっていきたい」という参加者が多く、「来年度、宇宙の学校を宇部市で開催したいので、詳しい情報が知りたい」と、すぐに具体的な質問してくる方もいました。県としても、これまで開催してきたノウハウを伝達し、県内の様々な場面で宇宙教育が実施されるように、年間を通じたサポートを継続していきたいと思います。

